

ユネスコこどもまつりを通してみつけたこと

2019年12月22日(日) 11:00~16:00

めぐろパーシモンホール小ホール



第五回ユネスコこどもまつりの司会を勤めさせていただきました。第五回といっても初めて参加したイベントなので正直不安もありましたが、最終的にはみなさんに楽しんでもらえたと思います。

「こどもまつり」ということでホールだけでなくホール外にあるブースにもたくさんのこどもたちで溢れかえっておりとても賑やかでした。いろんな国や団体が出展しており、缶バッチ作り、コースター作り、茶道体験や民族衣装を着て写真を撮るといった体験型ブースが多かったので小さなこどもたちでも楽しんでいただけるようなことばかりでした。

このような様々なブースだけでなく、ステージでも日本、ミャンマー、ノルウェー、ベトナムやネパールにシリアからの人々がパフォーマンスを披露してくれていました。和太鼓、ピアノ、バイオリン演奏、ダ

ンスやコーラスなど各国特有の文化を目にし、聴くことができました。

こどもたちや外国の方々を対象とした和太鼓体験や各文化の舞踊に混ざって踊るなどと、こどもたちにとっては本当にいい経験になったと思いますし、外国の方々にとっても日本の文化に触れてもらえたなと思いました。中でもシリアからの人は平和についてのオリジナルソングを日本語で弾き語りしてくださって「平和が一番」ということを改めて実感させられました。

今回のユネスコこどもまつりも高校生を中心に企画・運営をしてきたので、これからも多くの高校生に目黒ユネスコ協会の魅力、ボランティアや海外に対する関心を持っていただけたらなと思います。

青年会員 鈴木 美香



新年のご挨拶



NPO 法人 目黒ユネスコ協会 会長 宮下 晶子

目黒ユネスコ協会の皆さま、明けましておめでとうございます。

新たに会長に選ばれました宮下晶子です。昨年、30年以上にわたる平成の時代が終わり、新しく令和の時代が始まりました。新たに天皇陛下が即位され、日本列島は喜びに溢れました。

しかしながら、国内では幾つもの台風が来襲。被害は広範囲に及び、多くの方が亡くられました。改めてお悔やみ申し上げます。

国内のみならず、世界各国でも自然災害が頻発しています。地球温暖化がその要因とされ、気候変動による様々な問題の解決が喫緊の課題とされています。ま

た昨年末にはアフガニスタンで長期にわたり医療活動、灌漑施設の整備等が続けられてきた中村哲医師が命を落とされました。まことに残念でなりません。貧富の格差の拡大や、紛争・内戦がまだまだ多発していることを考えると、中村さんの遺志は引き継がれてゆかねばなりません。

本年は、いよいよ 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されます。世界の人々と友好を深めるいい機会になることと思います。本年も皆さまの力を結集し、明るく元気に目黒ユネスコの活動を盛り上げてまいりましょう。最後になりましたが、皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。

支援通信

街頭募金「台風 19 号被災地のために」



2019 年 12 月 1 日 10:00~12:00 中目黒駅前

★ 台風 19 号で被災された宮城県への支援を目的とした今回の募金活動では、およそ 40,000 円の寄付金を集めることができました。途中から参加してくれた五本木小学校の子供たちの一生懸命な声も中目黒駅前に響き、多くの方が足を止めてくださいました。

いま私たちが日常を送れている一方で、たくさんの被災された人々が大変な生活を余儀なくされています。今回の活動によって改めてそのことを考えるとともに、そんな人たちの為に支援をしたいと考える温かい人たちが多くいるということを実感しました。支援金が被災地の復興に役立つことを願います。 青年会員 入江 南帆



五本木小学校の子どもたちから

★ 初めは、大きな声が出ませんでした。高校生のお姉さんや友達と一緒に繰り返し募金を呼び掛けていると、自分の箱に募金が入りました。小さな子も募金してくれました。困っている人の役にたてるのが嬉しくなりました。最後は大きな声で、呼び掛けられるようになりました。 (6年生)

★ ユネスコスクール委員会の子供たちは東日本大震災、西日本豪雨災害などに続いて、今回の台風 19 号による災害支援募金に参加させていただきました。目黒ユネスコ協会の方々、大学生や高校生と一緒にやる活動は、とても貴重な経験となっています。実際、街頭に立って自分の声でよびかけるといのは、勇気のいることです。

最初は細々とした声で、募金箱に入る温かな支援に後押しされ、体の内側から振り絞る声となっていきました。活動をやり遂げた表情には、子どもたちの中の大きな変容を感じました。誰かの役に立てる喜びを体験して実感できる機会を頂きありがとうございました。 (鈴木陽子 先生)



2019年度 関東ブロック・ユネスコ活動研究大会 in 埼玉

Peace for Tomorrow (ひろげよう平和の心)

—平和な社会を目指し、共に学び・共に語ろう—

2019年10月5日(土)・6日(日) 会場：蓮田市総合文化会館 参加者：約260名

1日目は、蓮田市立蓮田中学校吹奏楽部のさわやかな演奏で幕をあげた。開会式のセレモニーに続き、「地球規模における環境変化—南極からの警鐘—」と題して、極地研に携わる4人の研究者によるパネルディスカッションが行われた。



進行役の福地光男氏は、「日本から遠く離れた南極で起きている変化の中で、生き物にどんな変化が起きているか、共に考え、学ぶ機会にしたい」と提言された。オーストラリアのグラハム・ホージー博士とハービー・マーチャント博士は、共に南極海のプランクトンの研究をしている。ペンギン、アザラシ等の餌となる動物プランクトンは、海水温の上昇で数が激減し、

その影響は大きいと語った。また、伊村智博士は、南極陸上系を調査して、温暖化の進行と紫外線照射量の増大で、コケ等の陸上植物の生態系が変化していると述べていた。

午後は、4分科会（世界寺子屋運動・ユネスコスクール・ユネスコ

活動の活性化・世界遺産、未来遺産）に分かれ、提案者の発表と活発な意見交換が行われた。

2日目は、日ユ協連セミナーで、各ユ協・クラブの運営強化について情報交換を行った。

目黒ユ協からは、3名が参加した。次年度は多くの会員の参加を期待したい。

理事 久富 美智子

ユネスコ理数教室

紙飛行機を作ってみんなで飛ばそう！

最初にまず『航空の理論と飛行機の歴史』について講義があった。

1890年リリエントールがグライダー滑空に成功。その後ライト兄弟が自由な操縦を可能にし、飛行機は急激に進歩した。20世紀にはジェット機やロケットが発明され、今では宇宙空間に進出するまでになったという。

続いて子供たちにキットが配られる。このキット（ウイングスプレーン）の設計者、二宮康明工学博士は紙飛行機の国際的権威だ。

講師がキットの組立て方、飛ばし方の説明をする中、早々と組み立てて飛ばそうとする子供もいたが、まず



は機体に色付けし自分だけの飛行機を作る。それから初飛行だ。教えられたように飛ばしてみるのが、なかなかうまくいかない。飛行機はなぜ飛べるのか？上手に飛ばすにはどうしたら良いのか？指導を受けながら翼や胴体を微調整し、飛ばしては再調

整…しばらく後、講師の声掛けで全員集合し、機体を並べ出来栄を比べてみる。最後に一機ずつ飛ばして滞空時間を測定すると、中には7秒以上の子供もいた。各々、自作機と飛行記録証を手し、ニコニコ顔で帰路に就いた。

自作の紙飛行機に目を輝かせる子供たちに、未来の宇宙飛行士の姿を想像した。広報 江藤 甚一郎

2019年11月10日(日)14:00~16:00

月光原小学校体育館 参加：小中学生20名

主催：目黒区教育委員会 主管：NPO法人目黒ユネスコ協会

講師：荒木敏彦氏(日本紙飛行機協会 事務局長)

★ユネスコ文化講座 ②

『世界一受けたい授業』で人気の木村泰司氏が読み解く
ハブスブルク・コレクション ウィーン美術史 美術館の至宝
～美術は見るものではなく読むもの～

日時:2020年1月16日(木)13:30～15:30

会場:めぐろパーシモンホール 小ホール

講師:木村 泰司氏(西洋美術史家 NHK 文化センター講師)

対象:目黒区内在住・在勤・在学者優先

定員:100名(先着) 参加費:無料

申込方法:Fax・HP・メールで、『1/16 ユネスコ文化講座』・氏名・住所・

電話番号・同行者名を明記の上、当事務局まで。締切り:1月15日(水)

*当協会HPからも申込み可能、“目黒ユネスコ協会”で検索してください。

*全員に案内返信いたします。

ふるって、
ご参加ください

■目黒ユネスコ新年会

～「令和」初めてのお正月をみんなで楽しく過ごしましょう～

日時:2020年1月18日(土)12:30～15:00

場所:五本木小学校 ランチルーム (受付開始12:00)

会費:500円 または料理一品

申込み:事務局まで。ご参加の方は、必ず1月15日(水)までに
事前申込みをしてください。

*カレンダー(2020年版)のご寄付をお願いします。当日、ご希望の
方に差し上げます。*詳細はチラシをご覧ください。

★ユネスコ美術教室

I「グアッシュ(不透明水彩絵具)を使って

自由に絵を描こう! ②」

日時:2020年2月6日(木)～3月12日(木) 14:00～16:00

講師:松田 幸三氏(画家・京都造形芸術大学非常勤講師)(全6回)

会場:緑が丘文化会館(目黒区緑が丘2-24-3) 費用:4,000円(材料費)

募集人員:20名(目黒区在住・在勤・在学者優先)

申込〆切:2月3日(月)

II「陶芸作家の工房で手びねり抹茶茶碗を作ろう」

日時:2020年2月14日(金)～3月13日(金) 14:00～16:00

(*但し、2月28日(金)はお休み) (全4回)

講師:安原 喜彦氏(陶芸作家)

会場:紅椿窯(目黒区下目黒4-21-16) 費用:4,000円(材料費)

募集人員:12名(目黒区在住・在勤・在学者優先)

申込〆切:2月8日(土)

申込方法(I・II共通):往復ハガキに講座名・住所・氏名・年代・電話
番号を記入し、事務局までお送りください。応募多数の場合は抽選に
なります。参加者決定後、返信ハガキにてご連絡します。

*詳細は同封のチラシをご覧ください

■新入会員 どうぞよろしく!(敬称略)

(正会員)小幡 直子 相川 一敏 相川 春美 有我 昭一
(フレンドシップメンバー:FM)登録者数(11月現在)166名

■書きそんじハガキ回収キャンペーン

～ユネスコ世界寺子屋運動～

期間:2020年1月20日(月)～1月31日(金)

*回収した書きそんじハガキは切手などに交換し、日本ユネスコ
協会連盟を通じ、世界寺子屋運動に寄付します。
皆様のご協力をお願いいたします!

活動日誌 11～12月

★11/10(日) ユネスコ理数教室(紙飛行機)

■11/13(水) ショートニュース(No344)発送&連絡会

■12/20(金) 事務局大掃除

■12/20(金)～2020.1/5(日) 事務局冬休み

■12/22(日) ユネスコこどもまつり

■語学教室 仏2、韓1、伊1、英1、独1、西1

▲日本語教室:週4回(火木曜午前・火曜夜・土曜午前)

1月以降の予定

★1/7(火) 日本語教室2020 冬期教室開始

■1/8(水) ショートニュース(No345)発送&連絡会

★1/16(木) ユネスコ文化講座②

■1/18(土) ユネスコ新年会

★1/19(日) ユネスコ理数教室(宇宙体験)

■1/20(月)～1/31(金) 書きそんじハガキ回収キャンペーン

★2/6(木) ユネスコ美術教室(絵画)開始

■2/12(水) ショートニュース(No346)発送&連絡会

★2/14(金) ユネスコ美術教室(陶芸)開始

■ 目黒ユネスコ協会主催

● 目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業

▲ 目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業

★ 目黒区教育委員会からの受託事業

事務局は
月曜～金曜/13時～16時
スタッフが対応します

日本ユネスコ協会連盟発行

「機関紙ユネスコ」についてお知らせ

前号でもお知らせしました通り、「機関紙ユネスコ」(年4回発行)は、経費削減のため、昨年10月号からWeb配信のみになりました。当協会のHP上にもリンクいたしましたので、是非ご覧ください。

また、個人でも直接Web受信できます。その場合は日本ユネスコ協会連盟にアドレスの登録が必要です。登録についての問合せは日本ユネスコ協会連盟(03-5424-1121)まで。

NPO法人目黒ユネスコ協会 会報誌PDF版

SHORT NEWS ショートニュース 最新版

当協会HPも充実!
(PC版・スマホ版共)
『目黒ユネスコ協会』で
検索してください!

【編集後記】

急速な森林破壊も起因して地球温暖化が止まらず、異常気象も世界を巡り、
昨年にも災害の多い年だった。住み心地の良い地球を守るため、我々に出来る
ことはあるのだろうか?

昨秋から、日本ユネスコ協会連盟の機関誌「ユネスコ」が経費削減のため、
Web配信に移行。目黒ユ協のHPからも閲覧できるようになった。それを機
にショートニュースもHP内にSHORT NEWS PDF版がWeb配信された。
クリックするだけでPCやスマホでいつでも閲覧でき、大変便利だ。その上、
温暖化の遠因の一つ紙素材の節減にも繋がる。

毎回会員に郵送されるショートニュースの発送方法も、考えるべき時が
来ているのではと思う新年だ。
篠田啓子